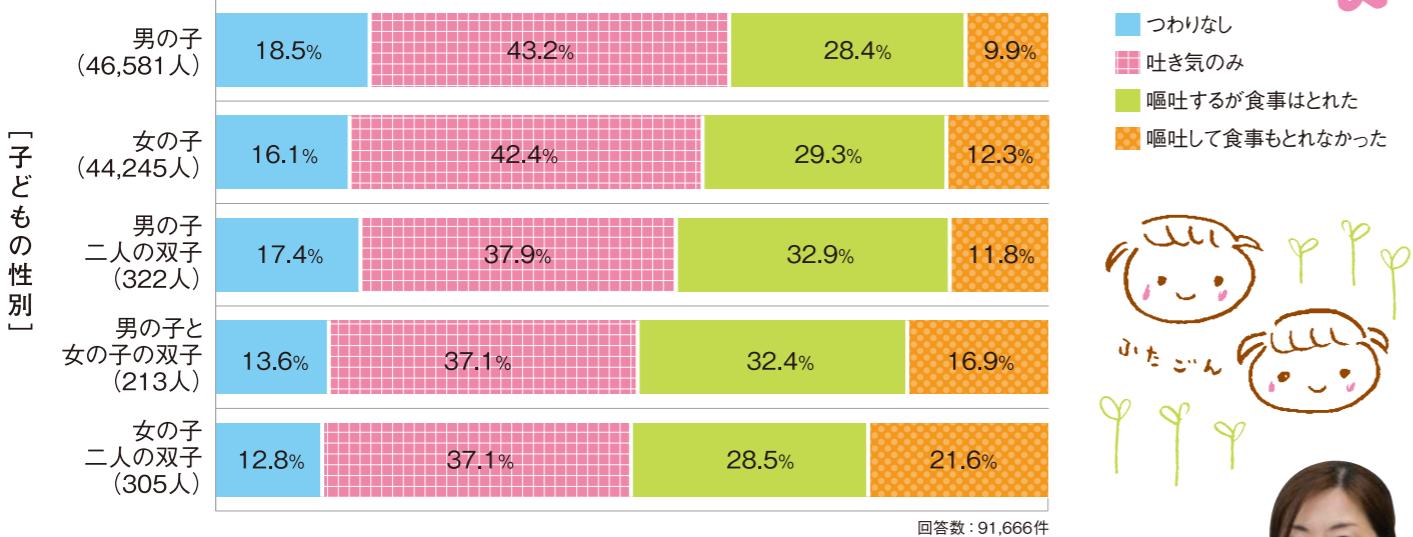


『胎児性別と単胎・多胎におけるつわりの重症度』より つわりの程度は子どもの性別と関係がある??

高知ユニットセンターの研究員、満田直美先生が妊娠中のつわりの程度と子どもの性別との関連について、エコチル調査のデータを用いた論文を発表しました。

妊娠中に回答していただいた「妊娠してから妊娠12週頃までの間につわりの症状はありましたか。」という質問に対する「なかった」「嘔気のみ」「嘔吐するが食事はとれた」「嘔吐して食事もとれなかった」という4つの選択肢のうち、「嘔吐して食事もとれなかった」と回答した人は、女の子を妊娠中のお母さんに多く、中でも女の子二人の双子を妊娠中のお母さんが「嘔吐して食事もとれなかった」と回答している割合が最も高いことがわかりました。つわりの症状の程度には個人差が大きく、つわりが起きるメカニズムについてはまだ不明な点がたくさんありますが、今回の結果から子どもの性別もつわりの程度に影響していると考えられます。みなさんはどうでしたか?

▶つわりの程度と子どもの性別との関連



2000年前に古代ギリシアの医師ヒポクラテスは、「女の子を宿すと母親の顔が青白くなり、男の子を宿すと健康な顔をする」と述べていたそうです。今回の調査結果を言い当てているようですね。昔の人はつわりの程度で赤ちゃんの性別を予測していたのかもしれませんね。

満田 直美先生
高知大学
医学部附属病院
小児科医師

お問い合わせ

◆エコチル調査コールセンター〈全国共通〉

TEL 0120-53-5252 | 年中無休 | 9:00-22:00 |

◆エコチル調査ホームページ

エコチル調査
<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/>

◆こうちエコチル調査に関するお問い合わせ〈高知県〉

TEL 088-880-2173 | 土・日・祝日をのぞく | 9:00-17:00 |

mail info@kochi-ecochil.jp

こうちエコチル 調査 <http://kochi-ecochil.jp/>

高知大学医学部内 エコチル調査 高知ユニットセンター事務局 |

〒783-8505 南国市岡豊町小蓮

高知大学内 朝倉分室 | 〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1



エコチル調査は、環境省の全国調査で今年で調査開始から8年目を迎えました。

参加者の皆様から半年ごとにいただく質問票の回答や、参加者の5%の方にご協力いただいている詳細調査によって追跡調査が進んでおります。今後、参加者のお子さんが8歳(小学校2年生)となる時期には学童期の検査の実施も計画しております。地域の皆様とともに、未来の子ども達のために、まだまだ続くエコチル調査。次世代のお子さんが安心して暮らせるよりよい環境づくりのために、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

エコチル調査高知ユニットセンター スタッフ一同

エコチル調査の道のり

スタート

[2011年]
お子さんがお腹の中にいる時から調査は開始



ご協力いただいている内容
●生活環境やお子さんの成長など様々な質問が含まれる質問票への回答
●お母さんから血液・尿・母乳・髪の毛など試料の提供

全国で約10万人の参加者のご協力

[2011～2027年]
お子さんが誕生後の調査は、お子さんが13歳になるまで主に郵送の質問票により行われます



詳細調査

参加者全体の5%の方にご協力いただいている、さらに詳細な調査



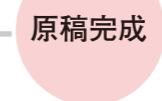
高知約7,000人、全国約10万人の全てのデータは茨城県つくば市のエコチル調査コアセンターへ送られ、全国のエコチル研究者が研究に使用できるように、膨大なデータを整える作業が行われています

すべての生体試料の保管・分析も行われています



全国のエコチル研究者へデータが配布されます

研究のために解析開始
論文を執筆



原稿完成

専門科学雑誌に論文を投稿!

専門科学雑誌に論文が掲載

新聞、メディアで発表が行われること!



エコチル調査と追加調査で発表されたことの一部

妊婦の妊娠前からの婦人科疾患は産後のうつ発症のリスクを高める
Muchanga et al., 2016

つわりと赤ちゃんの性別には関連がある
※P4に掲載
Mitsuda et al., 2018

喫煙をすると、赤ちゃんの出生体重が減少する
Suzuki et al., 2016

世界に発信されています!



ゴール

発表された内容は、科学的根拠として医療や保健行政に用いられ、役立てられます

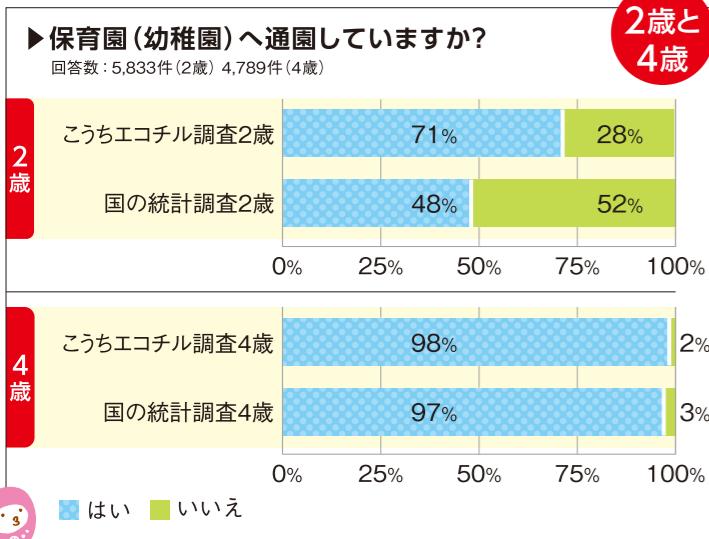


発表内容が環境省のホームページ「調査の成果」でご覧いただけます

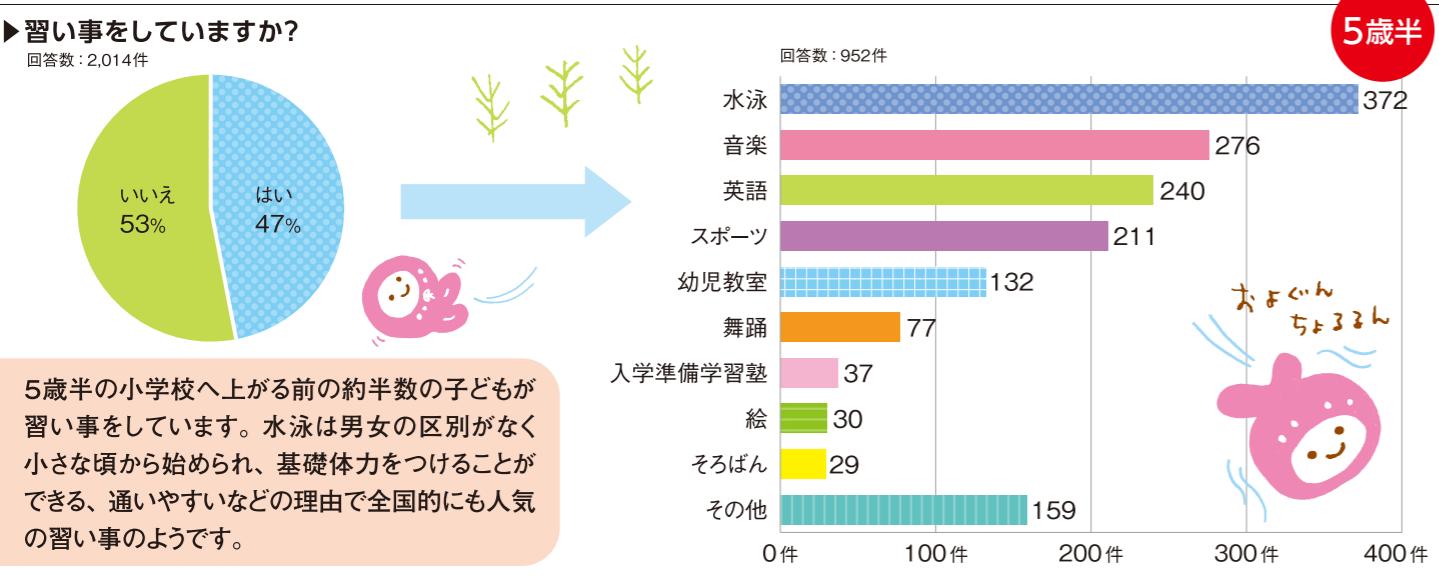
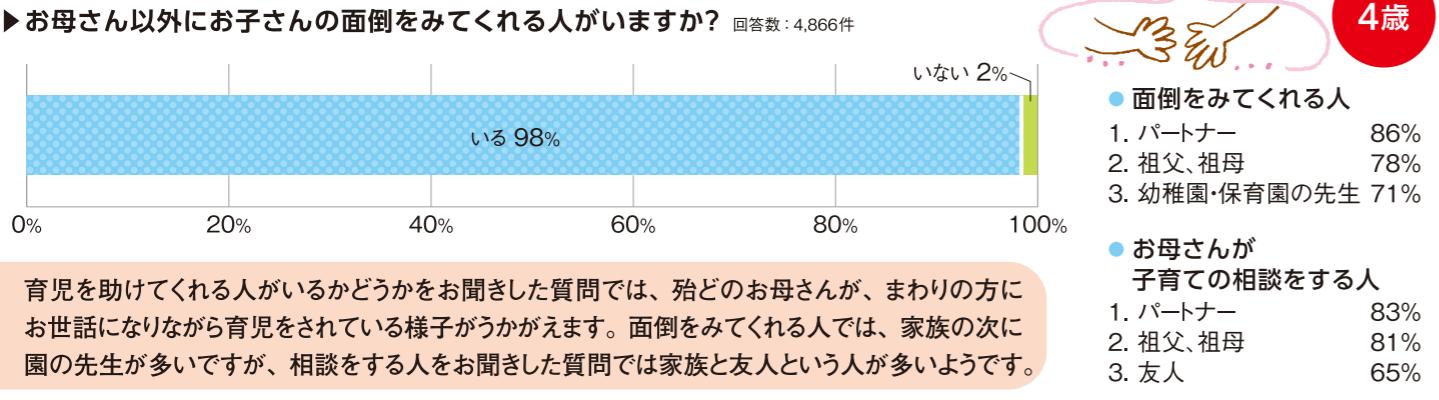


エコチル調査でみる高知の子どものくらし

こうちエコチル調査の2歳から5歳半の質問票からの結果です。国の統計情報も併せて掲載しています。＊＊



こうちエコチル調査では2歳のお子さんの71%、4歳の98%のお子さんが幼稚園か保育園などに通園しているという結果でした。H29年の文部科学省と厚生労働省の複数の調査の統計によると、全国で保育園(幼稚園・こども園)に通園をしている子どもは、2歳児の48%、4歳児の97%となっています。通園を開始した時期を調べたグラフからは、高知では子どもの通園開始が早いことが分かります。H29年総務省の就業構造基本調査によると未就学児を育児中の女性就業率は全国平均が64.2%のところ、高知は80.5%で第3位です。エコチル調査の結果からも高知では育児をしながら働いているお母さんがとても多いことが分かります。



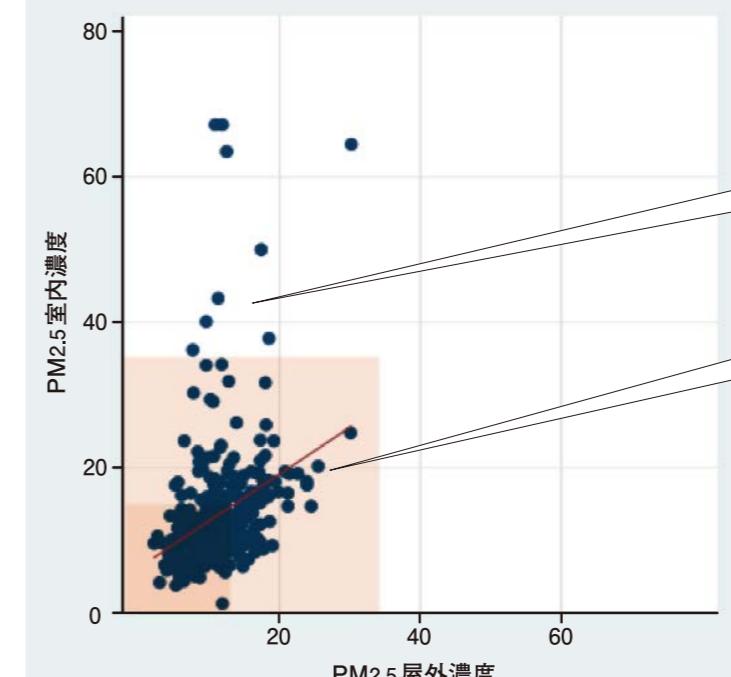
*注意 この結果は2018年10月末時点のこうちの回答に基づく(データクリーニング前の)暫定的な結果です。

数値は小数点以下四捨五入しています。%の加算値がちょうど100にならないものがあります。

お家のまわりの環境物質 PM2.5について

エコチル調査では、調査参加者の5%(全国で5,000人、高知で340人)の方にご協力をいただき、「詳細調査」を行っています。詳細調査の中には、各ご家庭を訪問して、室内・屋外の空気中の化学物質や微小粒子などを測定する環境の調査も含まれています。高知エコチル調査のご家庭で測定させていただいたPM2.5の結果をご報告します。

▶1歳半のお子さんの家庭で測定したPM2.5の室内外の濃度



室内は屋外に比べると濃度が基準値より高いご家庭があります。

1週間のPM2.5濃度の平均値は室内で14 $\mu\text{m}/\text{m}^3$ 、屋外で12 $\mu\text{m}/\text{m}^3$ と室内が少しだけ高くなっていますが、多くのご家庭で、家の中と外の濃度はほとんど変わりませんでした。



※黄砂など、季節や天気などによって室外のPM2.5の方が高くなることがあるので、飽くまで平均値での比較としてお考えください。

※この結果は1歳半訪問調査時の高知の環境測定結果に基づく暫定的な結果です。

国内のPM2.5の環境基準は「1年平均値が15 $\mu\text{m}/\text{m}^3$ 以下かつ1日平均値が35 $\mu\text{m}/\text{m}^3$ 以下」と定められており、1日平均70 $\mu\text{m}/\text{m}^3$ を超える場合は、健康に影響する可能性が高く、不要な外出はさるべきという指針がでています。今回のこうちエコチル調査の結果では、屋外は全ご家庭が30 $\mu\text{m}/\text{m}^3$ 以下で環境基準値内でした。県が屋外で行っている大気調査でも、安芸市、香美市、高知市、いの町、須崎市、四万十市の6箇所で測定をし、年間を通じてPM2.5の濃度が環境基準値を超えていないことが確認されています。室内については一部のご家庭で、健康の影響が心配される濃度となっていました。室内のPM2.5の発生源には、たばこ、調理、ガスや石油ストーブ、ダニ、カビなどがあり、PM2.5は粒子の直径が2.5 μm というだけで、その成分は様々です。特に、室内の発生源のひとつであるたばこの煙には多くの有害な微小な粒子が含まれており、加熱式電子タバコからもPM2.5が発生することがわかっています。健康のためできるだけPM2.5の少ない空気を吸えるようにしたいですね。

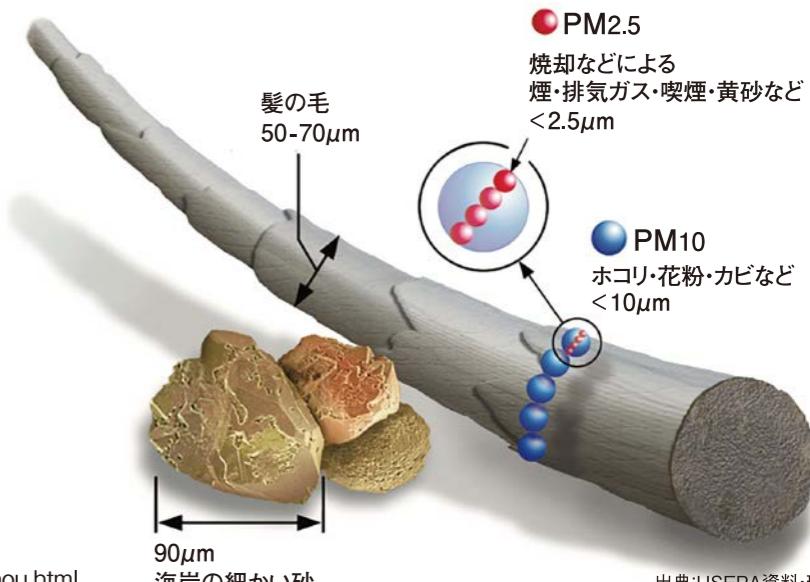
PM2.5って何?

大気中に浮遊している2.5 μm (マイクロメートル。1 μm =1/1000mm)以下の小さな粒子状物質のことです。地域、季節、気象条件などによって、その成分も変動します。PM2.5は非常に小さいため肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器や循環器系など健康への影響が心配されています。そのため、日本では、大気汚染防止法に基づき、工場・事業場等のばい煙発生施設の規制や自動車排出ガス規制などを行い、PM2.5の年間の平均的な濃度は減少傾向にあります。

PM2.5についてもっと知りたい方は

環境省の「微小粒子状物質(PM2.5)に関する情報」
<https://www.env.go.jp/air/osen/pm/info.html>

高知県の大気環境の状況について
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030801/pm25-sokuhou.html>



出典:USEPA資料・環境省